

事務事業マネジメントシート(令和5年度実績と令和6年度計画)

令和6年8月22日更新

事務事業名		コミュニティ運営事業					マニフェスト 関連		全庁横断 課題関連		集中改革 プラン関連	
総合	政策	3	教育の健康					所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	牧野 淳一	
計画	施策	10	生涯学習の推進					所属課	生涯学習課	担当者名	衛藤 剛	
体系	施策の柱	38	生涯学習団体の育成					所属班	生涯学習班	(内線)	1505	
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	根拠	合志市社会教育関係団体活動事業補助金交付要綱					
終了、開始年度		一般	10	5	1	10815				□ 単年度のみ	□ 単年度繰返	(開始年度 ～ 年度)
										□ 期間限定複数年度		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	各コミュニティ運営委員会への補助金の交付 平成30年度に(10764)コミュニティ指導員配置事業と統合し、コミュニケーション指導員の配置の実験講座の実施も行なう。 旧合志地域にはコミュニケーションの仕組みがないので、その点について区長会より意見が上がっている。モデルケースとして栄地域にみどり館を活動拠点とした「栄コミュニケーション」を設立できないか 平成28年度より巡回検討会を開催し、地元区長と協議を重ねてきた結果、令和2年8月3日に「栄コミュニケーション結成協定式」を栄地区8行政長と行った。
【業務の流れ】	①各コミュニケーション運営委員長からの補助金交付申請書を受理する。 ②申請書審査後交付決定となれば交付決定書を発行して各運営委員長からの請求書を受け、補助金を交付する。 ③事業が終了したら、事業実績報告書を受理し、審査後確定となれば確定通知書を送付する。
【主な予算費目】	報酬、時間外手当、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	旧合志地域にコミュニケーションを増やして欲しいと区長等より意見が上がっている。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分 6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
①手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO)	①各コミュニケーション運営委員会(中央・黒石・野々島・合生・須屋・栄)へ補助金交付
【目的】 市民センターを核とした生涯学習の推進と地域づくり	②コミュニケーション指導員の配置、指導員はコミュニケーション活動の企画立案、各講座の指導を行う。
①各コミュニケーション運営委員会(中央・黒石・野々島・合生・須屋・栄)へ補助金交付	【実施】 ・中央コミュニケーション運営委員会、黒石コミュニケーション運営委員会、野々島コミュニケーション運営委員会、合生地区地域づくり運営委員会、須屋コミュニケーション運営委員会、栄コミュニケーション運営委員会としてコミュニケーション指導員を各の市民セントラルに配置した。 【成果】 地元区長(コミュニケーション運営委員会)との連携し、各市民センターにおける講座の運営や学習発表会などを通じ、市民センターを核とした地域づくりと生涯学習を推進することができた。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標) ア)コミュニケーションや地区公民館への助成金額	予算の主な増減の理由 会計年度任用職員の昇給による報酬・期末勤勉手当の増
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 市民、市外からの通勤・通学者	②対象指標(対象の大きさを表す指標) ア)コミュニケーション構成区域の市民 人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 生涯を通じて学習を行っている	③成果指標(意図の達成度を表す指標) ア)生涯学習を行っている人の割合 % イ)

*③成果指標設定の理由と6年度目標値設定の根拠

自主団体数が増えることは、生涯学習団体の育成ができていることにつながるから

総トータルコスト
全体計画
～ 年度

0

(2)各指標・総事業費の推移			単位	3年度実績(決算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	5年度実績(決算)	6年度目標(当初予算)	7年度予定	8年度見込	9年度見込
① 活動指標	ア	イ	円	1,509,750	1,918,950	2,020,200	2,021,250	2,020,200	2,020,200	2,020,200	2,020,200
② 対象指標	ア	イ	人	38,235	38,990	37,500	38,975	39,000	39,000	39,000	39,000
③ 成果指標	ア	イ	%	31.2	40.2	35	45	45	45	45	45
投	事	業	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 繰入金 一般財源	千円							
入	費	量	(A) 事業費計 (A)のうち指定経費 (A)のうち時間外・特勤	千円	11,519	12,293	12,838	13,391	15,347	15,347	15,347
人	件	費	正規職員従事人数 延べ業務時間	人 時間	2 40	3 540	2 200	710	200	200	200
トータルコスト(A)+(B)			千円	11,675	14,348	13,634	15,976	16,143	16,143	16,143	16,143

合志市

事務事業名	コミュニティ運営事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	生涯学習課
-------	------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部 (C H E C K)

*原則は 5年度の事後評価、ただし複数年度事業は 5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 市内各コミュニティにおいて補助金を活用した事業を計画通りに実施することができた。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因 ↗】
	② 6年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由 ↗】 各コミュニティでは、感染対策を行いながら、地域のニーズに応じた活動を行っているため。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策 ↗】
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由 ↗】 ※コミュニティでは、他のコミュニティ指導員の協力を得て子ども向けのイベント等を行い講座の質の向上に努めている。 各コミュニティでも情勢に応じたイベントを計画するなど、今後の成果向上が期待できる。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由 ↗】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) □統廃合・連携ができる ⇒【理由 ↗】 □統廃合・連携ができない ⇒【理由 ↗】 他に類似事業が無い。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由 ↗】
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由 ↗】 □削減余地がない ⇒【理由 ↗】 コミュニティの事業はコミュニティ運営委員および地域住民の協力のものに行われております、不足する分を補助金にて賄っているため、削減は難しい。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由 ↗】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由 ↗】 □削減余地がない ⇒【理由 ↗】 補助金の交付事務は、主に申請時や実績報告時の書類審査であり、事務量も多くないので削減は難しい。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由 ↗】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由 ↗】 □公平・公正である ⇒【理由 ↗】 コミュニティ構成区における公民館数および戸数に応じて補助金を支給しているため、適正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由 ↗】
	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由 ↗】 □役割分担は適正である ⇒【理由 ↗】 補助金交付は市の要綱に基づいて決定しているため。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由 ↗】

3 評価結果の総括 (C H E C K)

コミュニティの活動が計画通り行われている。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）(A C T I O N)

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

- 廃止
- 休止
- 目的再設定
- 事業統廃合・連携
- 事業のやり方改善（有効性改善）
- 事業のやり方改善（効率性改善）
- 事業のやり方改善（公平性改善）
- 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

新型コロナウィルス感染症の感染拡大が収まりつつあり、コミュニティの活動も従来通りの活動に戻りつつある。

補助金の交付を通じて引き続き各コミュニティの活動を支援していく。

(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

	コスト		
	削減	維持	増加
成果	向上		
	維持	○	△
	低下	△	△

(3) 改革・改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策

現状では各コミュニティは十分な活動を行えている。

コミュニティの無い自治会、エリアについては、地元の要望を聞きながらコミュニティ導入の是非について検討していく。